

目次

[エッセイ]

- 辻 成史 忘れ得ぬ人々
——その2 The Three Princetonians—— 1
- 三浦 清美 マケドニア、イスタンブールでの調査旅行 6

[論文]

- 菅原 裕文・武田 一文
カッパドキア、ギョレメにおける未報告聖堂の図像プログラム 22
- 武田 一文 カッパドキア、ウフララ溪谷の聖堂調査に関する覚書
——新発見の小聖堂群を中心に—— 39
- 菅原 裕文 ヴァロシュ、スヴェティ・ニコラ聖堂の図像形成
——マケドニア南西部のビザンティン聖堂群におけるイメージの借用—— 47
- 花房 秀一 14世紀前半ノルマンディ地方三部会における王権と地域住民 62
- 高津 美和 フランチェスコ・ブルラマッキの陰謀
——16世紀ルッカの政治と宗教—— 77
- 久保田 静香 ペトルス・ラムス (1515-1572) 研究の現状
——Walter J. Ong 以前、以後—— 90
- 長尾 天 フープと永遠
——ジョルジョ・デ・キリコ《通りの神秘と憂愁》について—— 112

[書評]

岸田 菜摘

Louth, Andrew, *Greek East and Latin West: The Church, AD 681–1071 (The Church in History, 3.)* 131

発表要旨 133

活動報告 142

投稿規程 143

表紙のモノグラムは ΕΚΦΡΑΣΙΣ（エクフラシスの中世風表記）の組み合わせ文字です。